

第9回加東市行財政改革推進委員会 会議の概要

(平成20年度 第2回推進委員会)

開催日時	平成20年12月19日(金)午後3時30分~午後5時30分
開催場所	ラポートやしろ 2階 介護者教育室
出席状況	委員:9名(3名欠席) 市側:安田副市長 事務局:企画部企画政策課長以下2名
会 議 の 概 要	
<p>委嘱状の交付 現行の行財政改革大綱の取組期間中であることから、委員全員について、任期を平成22年9月28日として再任(委嘱)する。</p> <ul style="list-style-type: none">・委員長に、兵庫教育大学副学長の川本氏を、引き続き選出 <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 川本委員長 安田副市長</p> <p>3 協 議</p> <p>(1) 行財政改革の取組状況について</p> <p>平成19年度普通会計決算の状況及び決算に基づく健全化判断比率について説明し、協議する。</p> <p>平成20年度行財政改革の取組状況について説明し、協議する。</p> <p>水道事業及び病院事業中期経営計画(中間報告)の概略を説明し、協議する。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・当委員会での議会に関する発言や当委員会の会議が非公開であること等について、議員から指摘を受けている内容を説明する。 <p>4 そ の 他</p> <ul style="list-style-type: none">・次回委員会は、3月を予定する。日程は、事務局で調整する。 <p>5 閉 会</p>	

主な意見の要旨等〔()は事務局等の回答〕

【普通会計決算の状況及び健全化判断比率について】

〔普通会計決算の状況について〕

- ・18年度と19年度を比較すると、経常収支比率が5ポイントも上昇しているが、なぜか。
(起債の償還がピークを迎えつつあることが一要因と考えられるが、詳細については、調査する。)

〔健全化判断比率について〕

- ・健全化判断比率の数値は、加東市がどのような状態にあることを示しているのか。また、将来負担率の数値が示す状態は、具体的にはどのような状態か。
(早期健全化段階や財政再生段階ではなく、健全段階にある。)
(将来負担率の数値が示す具体の状態は、調べて後日返答する。)

【行財政改革の取組状況について】

〔公用車台数の適正化〕

- ・20年度の削減見込台数が10台は少ない。目標が低い。
- ・消防や福祉、ごみ、給食など、削減できない車両もあるので、十分な整理が必要である。
(削減対象車両を抽出、精査し、取り組んでいく。)

〔公立保育園・幼稚園のあり方の検討〕

- ・市立保育園運営のあり方検討委員会は、どのような状況か。民間にできるサービスは民間に委ねることも必要だと思う。
- ・中学校までの子育て対策を充実すべきだと思うが、特徴的なことを実施しているか。
(子育て対策としては、アフタースクールや延長保育を実施している。ファミリーサポート事業を実施しているが、預かっていただけの方を求めている。)

〔ケーブルテレビの整備による市民サービスの向上〕

- ・ケーブルテレビの組織体制は、カメラの得意な外部の人に委託するなど、スリム化が必要である。
(ケーブルテレビは、職員13人、嘱託・アルバイト2人の体制で運営している。取材後の編集に多くの時間を要しており、委員のご指摘も十分理解しているが、一度ケーブルテレビの業務状況などを視察いただきたい。)
- ・STBの交換状況はどうなっているか。
(20年度は予定の2,000台を交換できる状況であるが、まだ交換時期調査に回答いただけていない加入者が多くある。)

主な意見の要旨等〔()は事務局等の回答〕

〔定員管理の適正化〕

- ・資料の職員数は、正職員数だが、嘱託やアルバイトはどれぐらいいるのか。
(公表している中間報告に掲載しているが、総数としては減少傾向にある。しかし、短時間勤務者も多数あることから、単純に総数での比較はできない。)

〔内部評価システムの導入〕

- ・職員提案を実施されたが、21年度に実施できる提案はあったか。また、次のステップとして市民から意見を聞く制度もつくってほしい。
(多くは事務改善に関するものであったが、進出企業と地元企業とを結びつける会合の設置など、実施可能な提案もあった。)

〔地域づくり活動への支援〕

- ・地域づくり活動への支援について、支援内容や活動内容はどのようなものか。
(住民自治組織の運営に対する財政支援は、県民交流広場事業が立ち上がるまでを支援するもので、東条地域以外の地域では、小・中学校区単位で取り組まれている。
(まちづくり活動では、三世代交流や発達障害の勉強会、加東よしよし音頭の普及・推進など様々な取組を支援している。)

【病院事業中期経営計画(中間報告)について】

- ・身近な病院(加東市民病院)は、存続すべきと思う。その上で、西脇病院と連携することが望ましいのではないか。

【その他】

(副市長)

行財政改革大綱・集中改革プランの内容について答申をいただいた平成18年12月25日以降の当委員会会議録(平成20年11月公開)についての第18回加東市定例会(平成20年12月)における一般質問と答弁内容をお知らせします。

(一般質問及び答弁内容は、平成20年加東市議会会議録を参照)

(委員)

- ・当委員会での行財政改革推進の議論を実りあるものにするには、発言を規制しない自由な意見交換が望ましいのではないか。改革は痛みを伴うものなので、様々な観点から厳しい意見も出ると思う。
- ・議員定数について当委員会で発言があったが、最終決定は議会の議決によるものであることは、十分理解している。